

## 大雨による市街地の浸水と雨水排水対策について

立憲民主えびな　たち　登志子

**問**　近年、時間雨量50㍉を超える降雨も発生しています。こうした状況を踏まえ、雨水排水施設の整備計画や開発時の指導基準を見直していく考えはないか伺います。

**答**　**（まちづくり部次長）**…開発指導の流出抑制基準は、市の住みよいまちづくり条例に基づき、時間雨量50㍉対応が基本となります。基準の見直しには国や県の治水計画との整合性が不可欠なため、今後も動向を注視してまいります。

**問**　浸水した住宅などの復旧について、市民それぞれの判断で対応するだけではなく、行政による支援が必要となる場合も考えられます。市として具体的な対応基準や支援体制を設けているか伺います。

**答**　**（市長室専任参事）**…床上浸水の場合、国の判定基準により被害の程度が判定され、住宅修理費用の支援や住まいの提供を受けられます。市の独自政策として罹災見舞金制度もあり、罹災証明書の迅速な交付により公的支援につなげられるよう、万全の支援体制を構築してまいります。

**問**　市道、県道、高速道路とそれぞれ管理者が異なる中、市は市内の道路状況をどのように把握し、関係機関と情報を共有しているのですか。また、市民は道路冠水や通行不能などの情報をどのように確認できるのか伺います。

**答**　**（道路担当部長）**…市民や警察からの通報、職員のパトロールにより情報を収集し、関係機関と共有しています。市民が道路情報を把握する方法は、一般的には日本道路交通情報センターのホームページで確認ができ、長期の市道の通行止め情報は市のホームページで周知していきます。

**その他の質問**

・待機児童の解消と多様な保育の受け皿について
・不適切な補助金事務を踏まえた抜本的な組織改革と信頼回復について





## 保育園の不足問題について　内野市長と腎健クリニックとの関係について

無会派　三宅　紀昭

**問**　海老名市の保育所不足問題は、何よりも最優先で取り組まなければならないほど重要な問題であると述べその後は入園枠が増加したものの希望するが未だに待機児童や隠れ待機児童が多い状況でございます。市役所周辺の市街化編入などにより入園希望者が増加することは明白でしたが海老名市行政は後手後手の状況であります。そこで近年の入園状況と隠れ待機児童の実態について伺います。

**答**　**（保健福祉部長）**…ここ数年、積極的な保育所整備を行っており、令和9年4月には待機児童はおおむね解消できる見込みです。保育所に申請して入れなかった児童のことを以前は隠れ待機児童と呼んでいましたが、現在は保留児童と呼ばれています。令和8年4月の保留児童数は98名で、今年度新たに4園を整備することによって、来年度は大きく減少すると見込んでいます。

**問**　市長に与えられた裁量権を利用して自分の親しい友人に市民の収めた税金を使い多大な利益を与えていると言えます。腎健クリニックの土地や駐車場の登記簿、取得経緯、土地実勢価格を調べ、当時を知る方の証言、複数の地元不動産業者などからの事実証言も得た上での内容です。そこで市長はなぜ腎健クリニックに肩入れするのか伺います。

**答**　**（市長）**…これまでも、本市の土地の貸し付けなどについては、法令に基づいて適切に処理を行っており、適正な価格で貸し付けております。特定の個人に対して肩入れすることは一切なく、公平に行政の運営を行っております。三宅議員が言う疑念、疑惑は一切ございません。

**その他の質問**

・農業振興対策事業補助金について
・内野市長のパワハラについて






## 持続可能な財政運営と「まちづくり第2ステージ」の財源戦略について

政進会　森　英之

**問**　令和7年度に市が借り入れた市債は、前年度の約2倍の47億2700万円でした。将来世代も使うものへの投資には、市債を計画的に活用すべきと考えていますが、市債を活用したまちづくりの意義とリスクを伺います。

**答**　**（市長）**…市債と基金は極めて重要な財源で、長期的な視点に立った都市経営と世代間の公平性の両立に有効な手段です。まちづくり第2ステージを着実に進めるために市債の有効活用は不可欠ですが、その返済が財政の硬直化を招く恐れもあり、戦略的かつ慎重に進めてまいります。

**問**　市債は将来、税金で返済します。市の推計では返済額は令和11年度に34億3800万円へ増える見通しです。これがピークなのか、その後も増えるのかを伺います。

**答**　**（財務部次長）**…財政運営の指針、えびな未来創造財政ビジョンの計画期間は令和11年度までで、その後の推移を示すのは難しい状況です。今後予定されている大型事業の事業費や昨今の金利上昇の動向を踏まえてこのビジョンを精査し、持続可能な行財政基盤の確立に努めていきます。

**問**　借りたお金で市民に何が返ってくるのかを、事業を始める段階で決めておくことが大切だと考えます。次の総合計画で市全体の目標と測り方を定め、一つ一つの計画や事業の成果と測り方につなげる進め方を伺います。

**答**　**（財務部次長）**…現行計画の達成状況を十分検証した上で、令和12年度からの次期総合計画の検討を進めたいと考えています。計画の構成を含む総合計画のあり方自体も、従来の考え方にとらわれずに検討したいと思っています。

**その他の質問**

・災害時の庁舎の業務継続と災害情報伝達の高度化について
・事業・計画を実現する職員の現場理解と情報共有について

